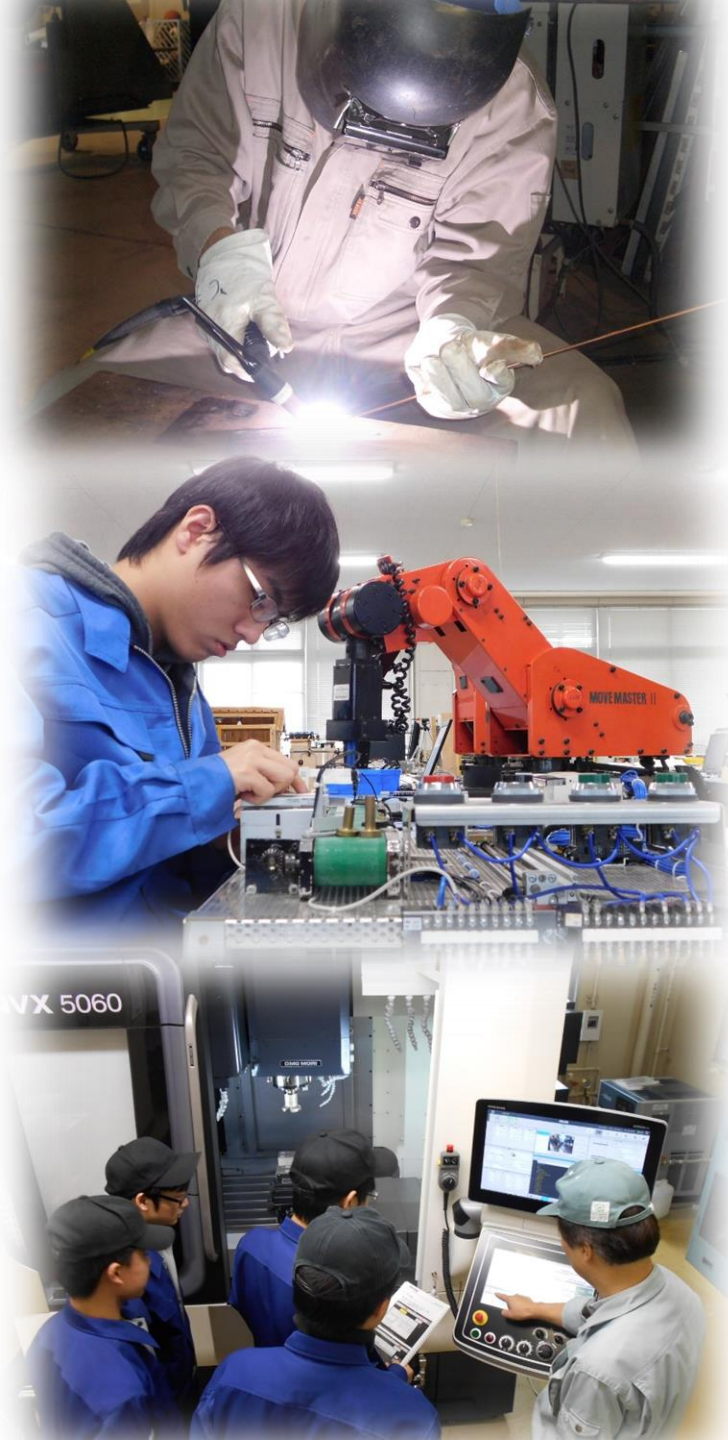




三重県立津高等技術学校の概要 及び 工業研究所との一体整備（建替え）について

【令和7年1月21日】

三重県立津高等技術学校
三重県雇用経済部雇用対策課

要旨

三重県立津高等技術学校の建替等についての経過報告

めざす姿（コンセプト）

人材育成の場としての魅力向上
企業ニーズや社会情勢等への対応
雇用のセーフティネット機能の充実強化

資料構成

第1章 三重県立津高等技術学校の概要

- （1）三重県立津高等技術学校の役割
- （2）三重県立津高等技術学校で実施する職業訓練（令和7年4月～）
- （3）施設内普通課程の再編
施設内普通課程の再編（スケジュール）

参考資料 企業ニーズ調査・高校進路指導担当者へのニーズ調査等

第2章 三重県立津高等技術学校の建替等について

- （1）三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想の策定
- （2）三重県工業研究所の津高等技術学校との一体整備を含む建替え再整備基本計画（中間案）について
- （3）着工までの年度別スケジュール等（想定）

第1章 三重県立津高等技術学校の概要

(1) 津高等技術学校の役割

三重県立津高等技術学校

- 三重県内に公共職業能力開発施設は3施設あり、そのうち県立は「津高等技術学校」の1校（津市）
- 昭和33年、職業訓練法の制定に伴い三重県津職業訓練所として創設
- 働く意欲のある人が職業能力開発の機会を得るとともに、県内産業の担い手となる人材の育成を図るため、津高等技術学校において学卒者、離転職、障がい者、外国人、在職者等を対象に、ものづくり分野をはじめとした多様な職業訓練を実施
- 就労支援員を配置し、訓練生への無料職業紹介や求人開拓等の就職支援を実施
- これまでに1万8千人を超える修了生（令和5年度：普通課程40人、短期課程87人、委託訓練459人）を送り出す

果たすべき4つの役割

地域産業を支える若年技術者の育成

中小企業の振興に必要とされる人材の育成

雇用のセーフティネット機能

多様な人材の職業能力開発

これまでの成果

- 施設内普通課程の就職率は90～100%の高水準
- 就職者の95%以上が県内企業に就職
- 在職者対象の訓練：資格取得に向けたセミナー、技術・技能向上セミナー、安全教育セミナー等年間400名以上受講
- 離転職者対象の訓練：パソコン事務、CAD、介護、保育士、栄養士、建築など年間約60コース実施
- 定住・永住外国人対象の訓練：溶接資格、パソコン操作技能
- 障がい者対象の訓練：簿記、パソコン操作技能
- 子育て世代の女性に配慮した訓練時間の設定

第1章（2）三重県立津高等技術学校で実施する職業訓練（令和7年4月～）

施設内訓練

ものづくり分野を中心とした職業訓練

【主に学卒者向け】

2年	自動車技術科				
	ICTエンジニア科				
1年	産業技術科				

↓

1年	産業技術専攻科				
	① 機械制御	② ロボット	③ 制御	④ コー	⑤ ス
	① 機械制御	② ロボット	③ 制御	④ コー	⑤ ス
	① 機械制御	② ロボット	③ 制御	④ コー	⑤ ス

【主に離職者向け】

4ヶ月 ～ 1年	ホームコーデ科				
	住宅サービス科				
	パソコンCAD科				
	オフィスビジネス科				
	金属成形科				
	OA事務科				
	マルチスキルワーク科				
	自動車板金・塗装科				
	アーキデザイン科				

委託訓練

民間のノウハウ等を活かした多様な職業訓練

【主に離職者向け】

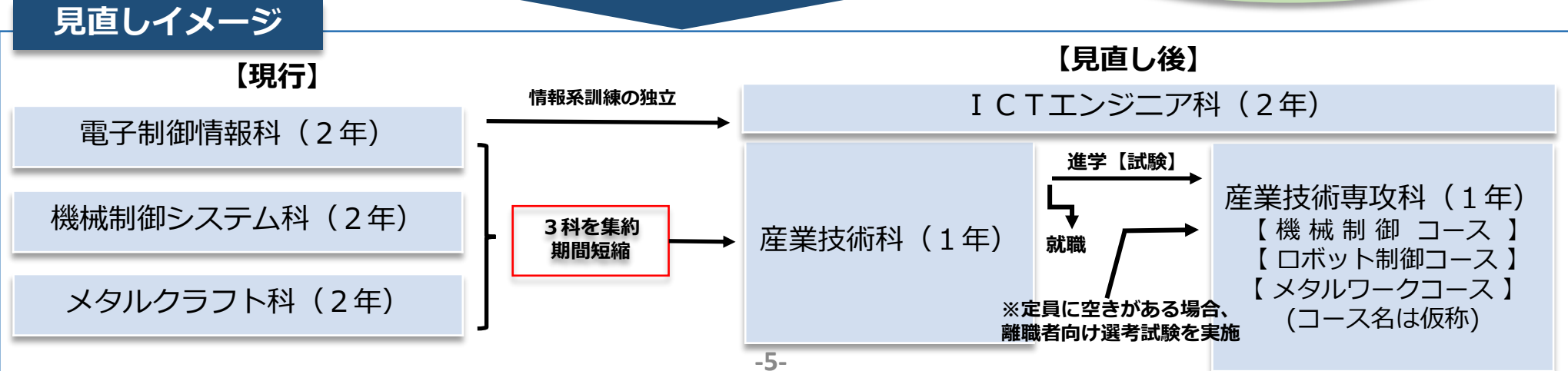
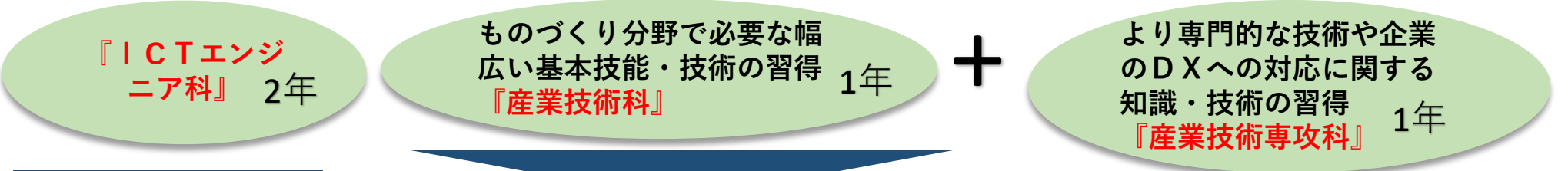
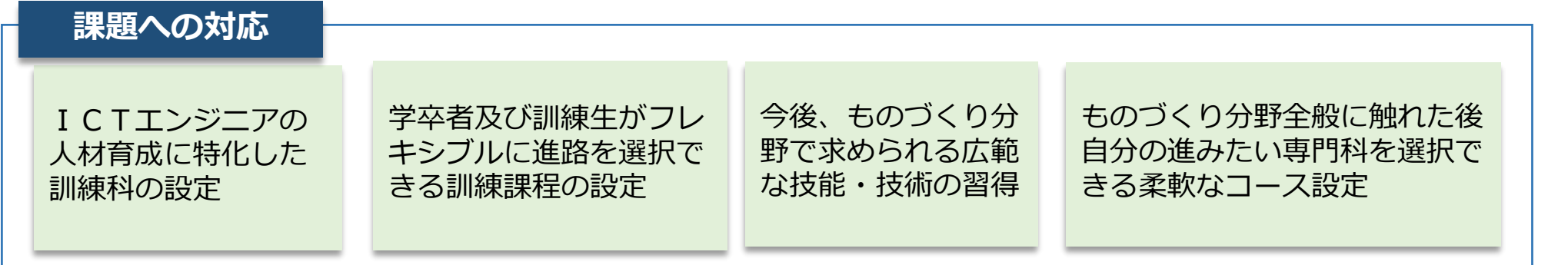
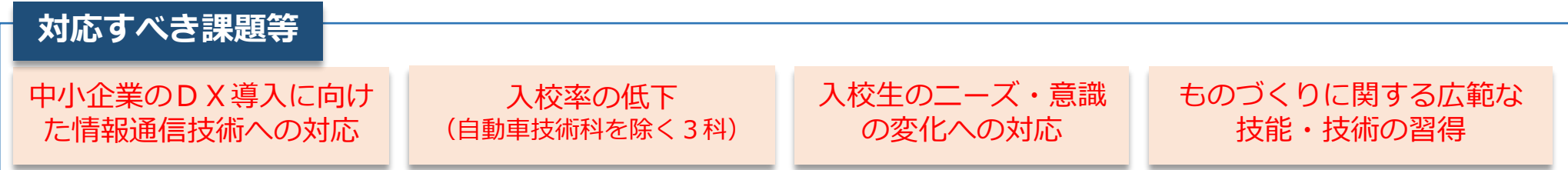
2年	介護福祉士養成科				
	保育士養成科				
	栄養士養成科				
	製菓衛生士養成科				

【主に離職者向け】

3ヶ月	知識等習得コース（パソコン・事務分野）				
	知識等習得コース（介護分野）				
	知識等習得コース（医療事務分野）				
	知識等習得コース（その他）				
	定住外国人向け職業訓練コース				

※上記のほか、施設内において、労働安全衛生法に基づく技能講習を中心とした在職者訓練を実施

※課程： 普通課程 短期課程



第1章（3）施設内普通課程の再編（スケジュール）

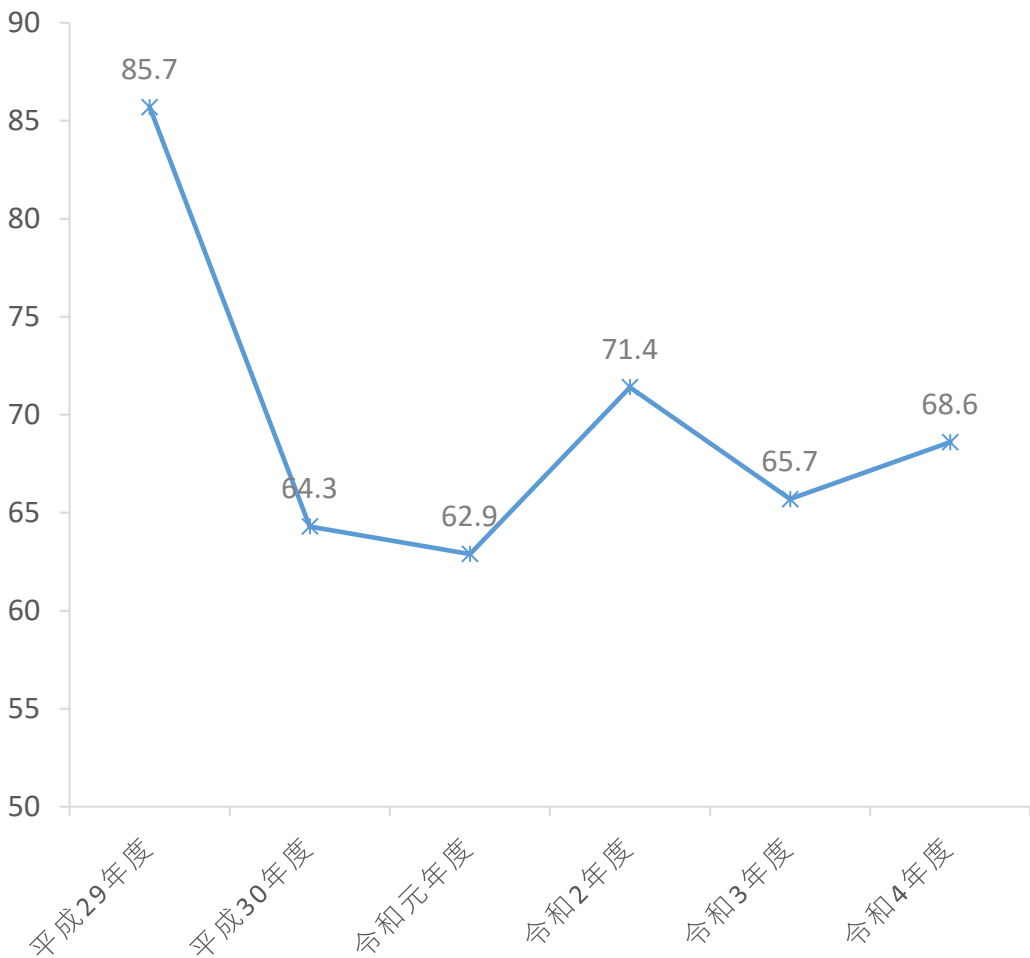
スケジュール

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見直し 訓練科	機械系	機械制御システム科（継続）			【廃止】
				産業技術科（1年）	産業技術科専攻科（1年） （機械制御コース）
	塑性加工系	メタルクラフト科（継続）			【廃止】
				産業技術科（1年）	産業技術科専攻科（1年） （メタルワークコース）
	電気電子系	電子制御情報科（継続）			【廃止】
				産業技術科（1年） ICTエンジニア科（2年）	産業技術科専攻科（1年） （ロボット制御コース）
		・ 審議会での審議 ・ 県議会説明	・ R6入校に向けた募集 ・ 規則改正	・ 『産業技術科』 及び 『ICTエンジニア科』 新設	・ 『産業技術専攻科』 新設

普通課程の入校率低下

○ 施設内普通課程（学卒対象者）
の近年の入校率が60%台と低調
（2017年度までは85%～90%）

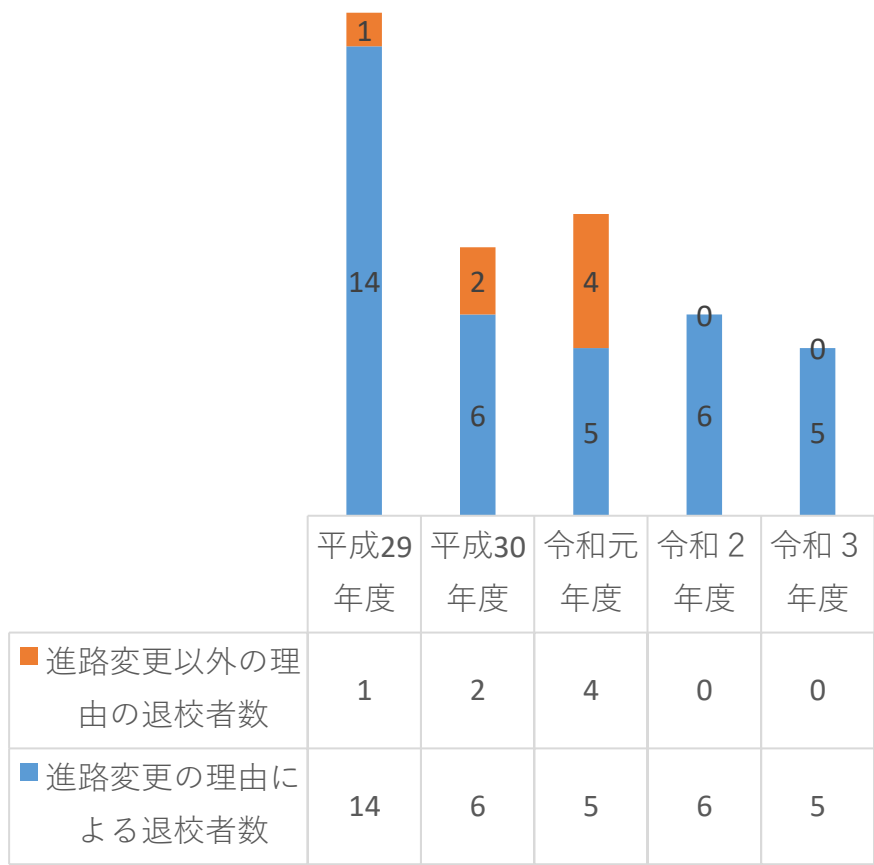
※ 普通課程



普通課程における退校者の増加

○ 訓練生自身の進路が定まらず、希望と
適性のミスマッチで目的意識が薄れて
退校（退校率10% H29～R3年度）

退校者の推移



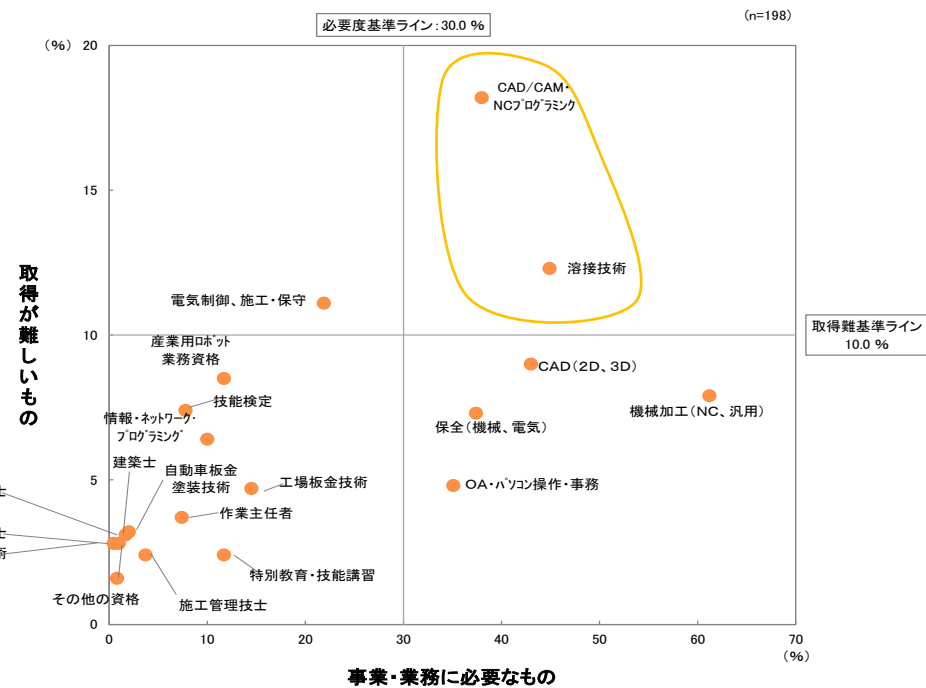
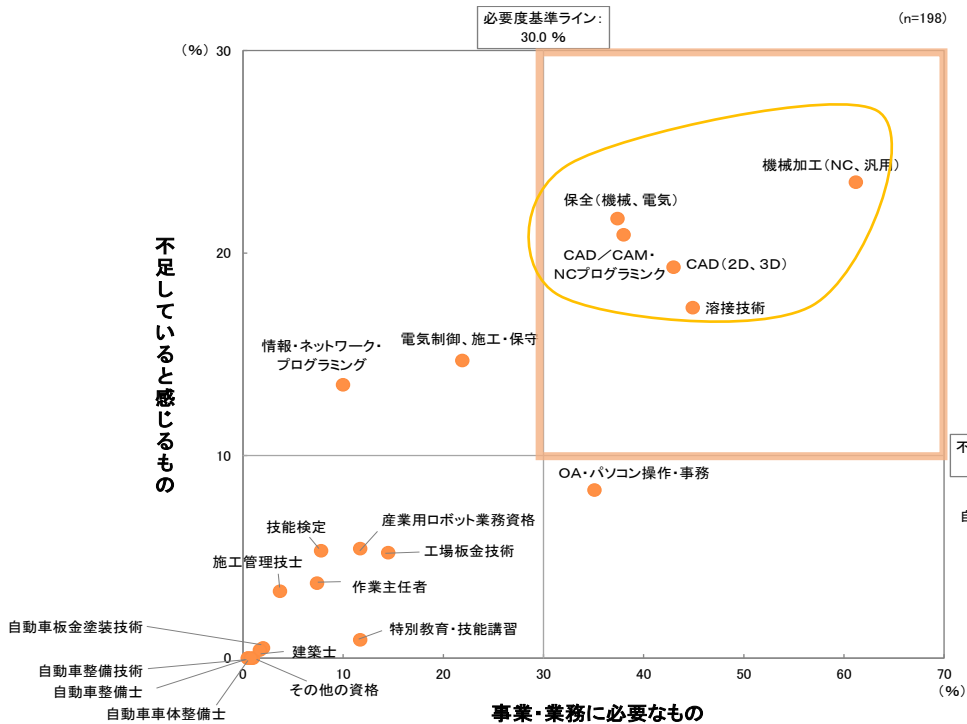
企業ニーズ調査の結果

(県内中小企業598社 2018年)

製造関連業種

優先して求められる技術・技能

教育の充実が求められる技術・技能

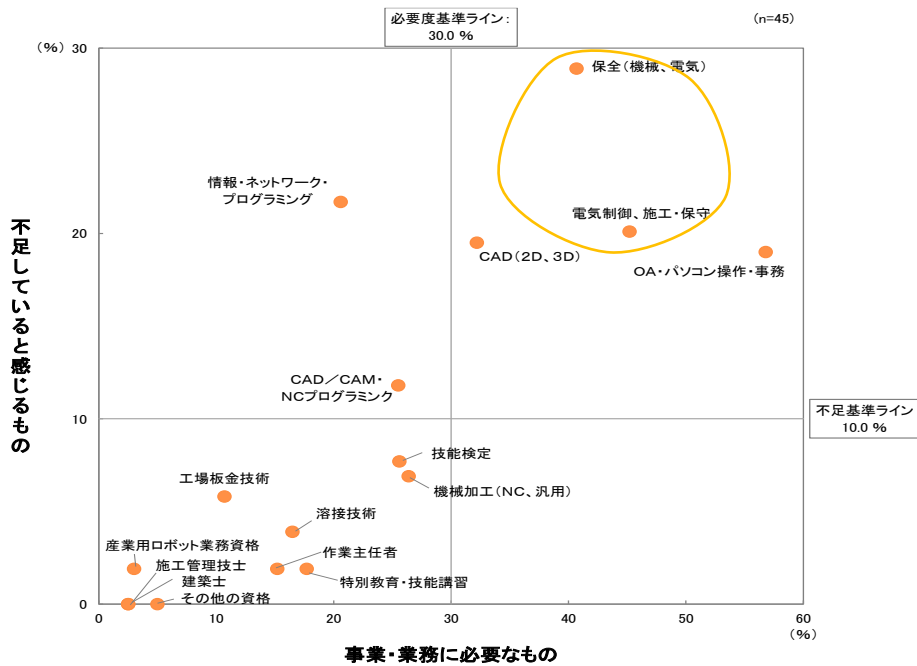


企業ニーズ調査の結果

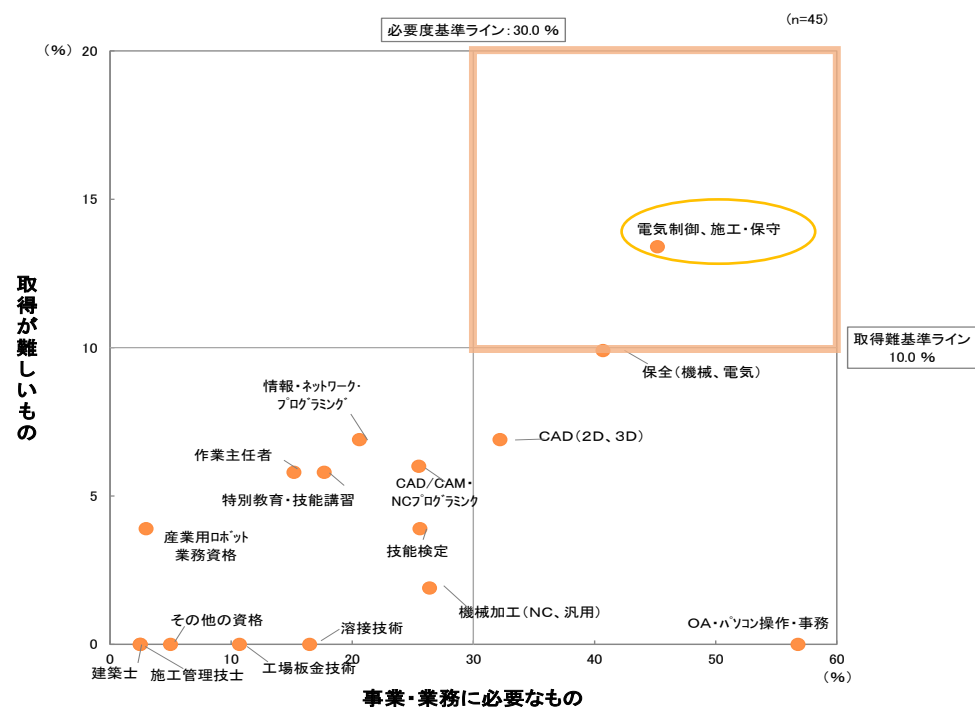
(県内中小企業598社 2018年)

電気・電子関連業種

優先して求められる技術・技能



教育の充実が求められる技術・技能

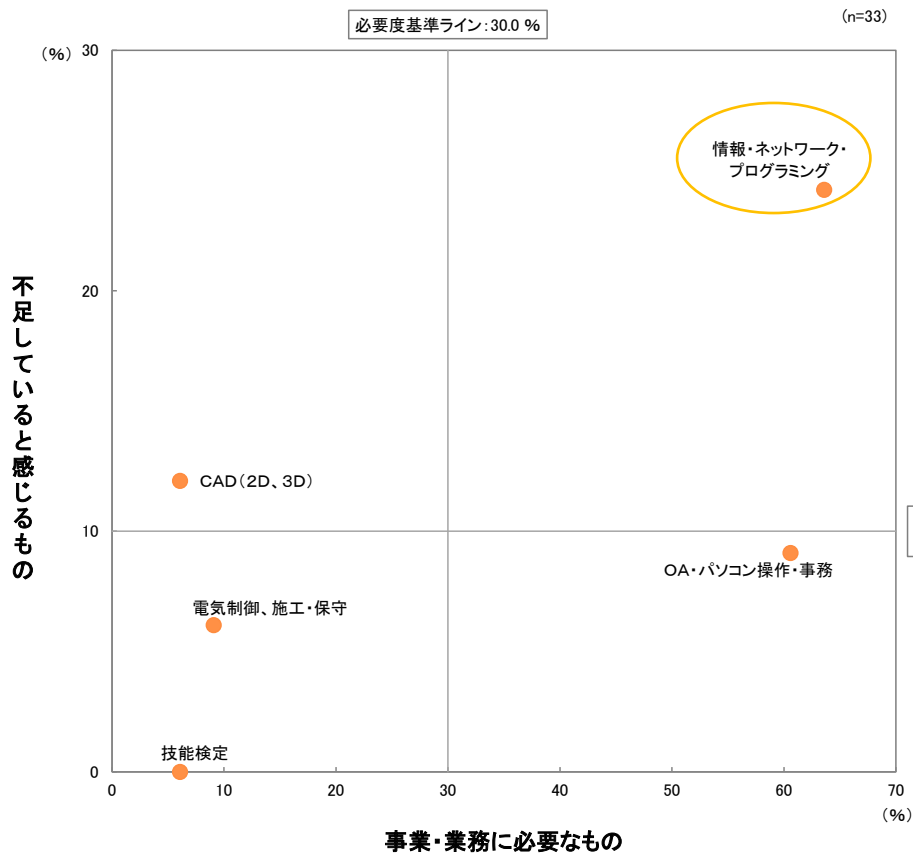


企業ニーズ調査の結果

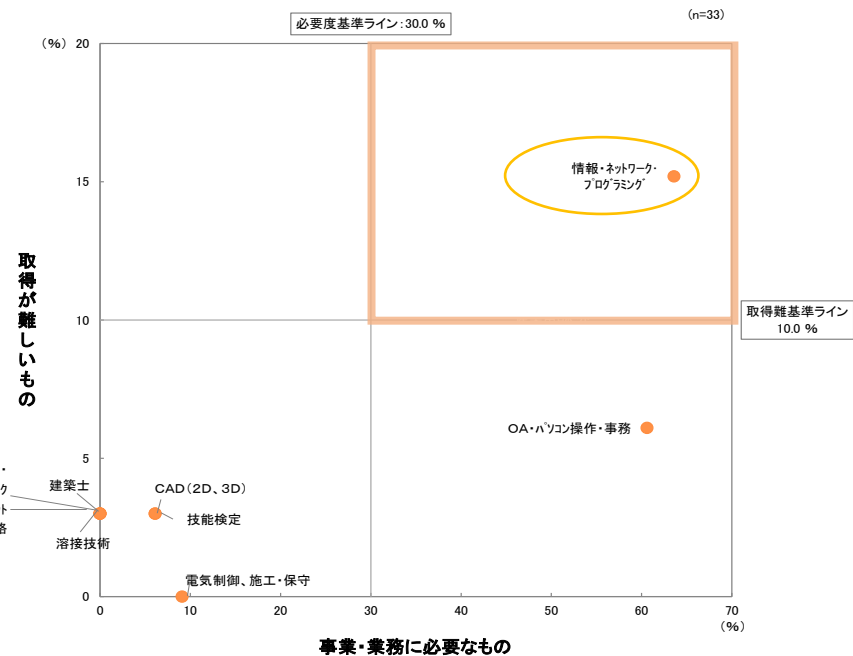
(県内中小企業598社 2018年)

情報通信関連業種

優先して求められる技術・技能



教育の充実が求められる技術・技能

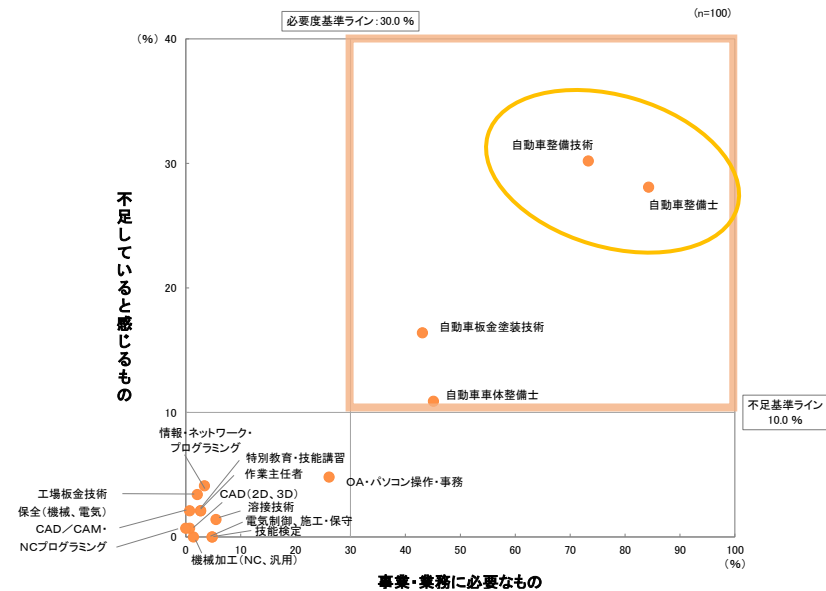


企業ニーズ調査の結果

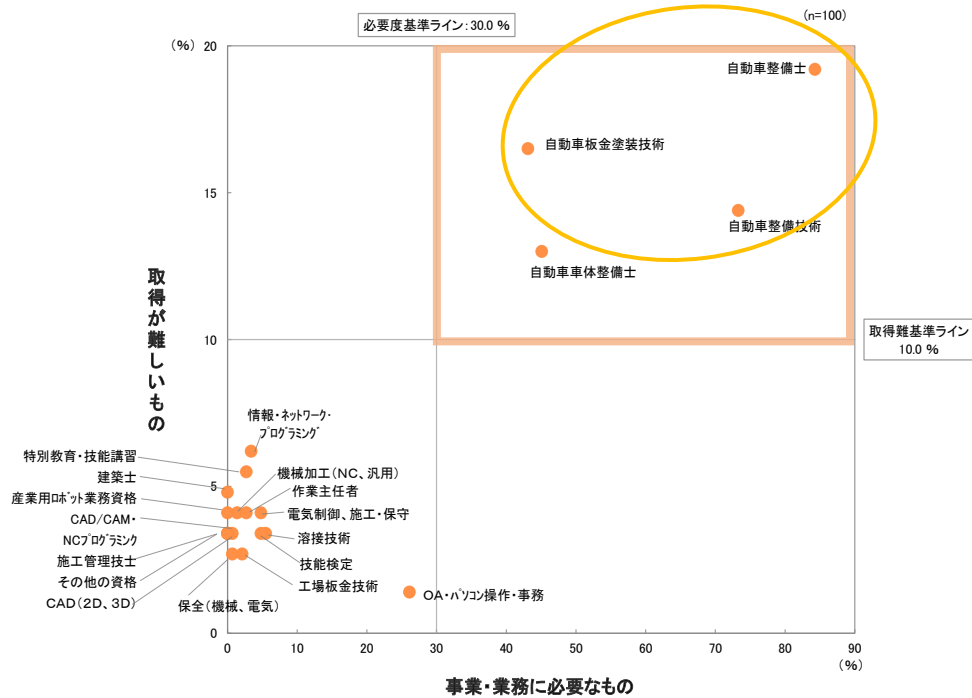
(県内中小企業598社 2018年)

自動車関連業種

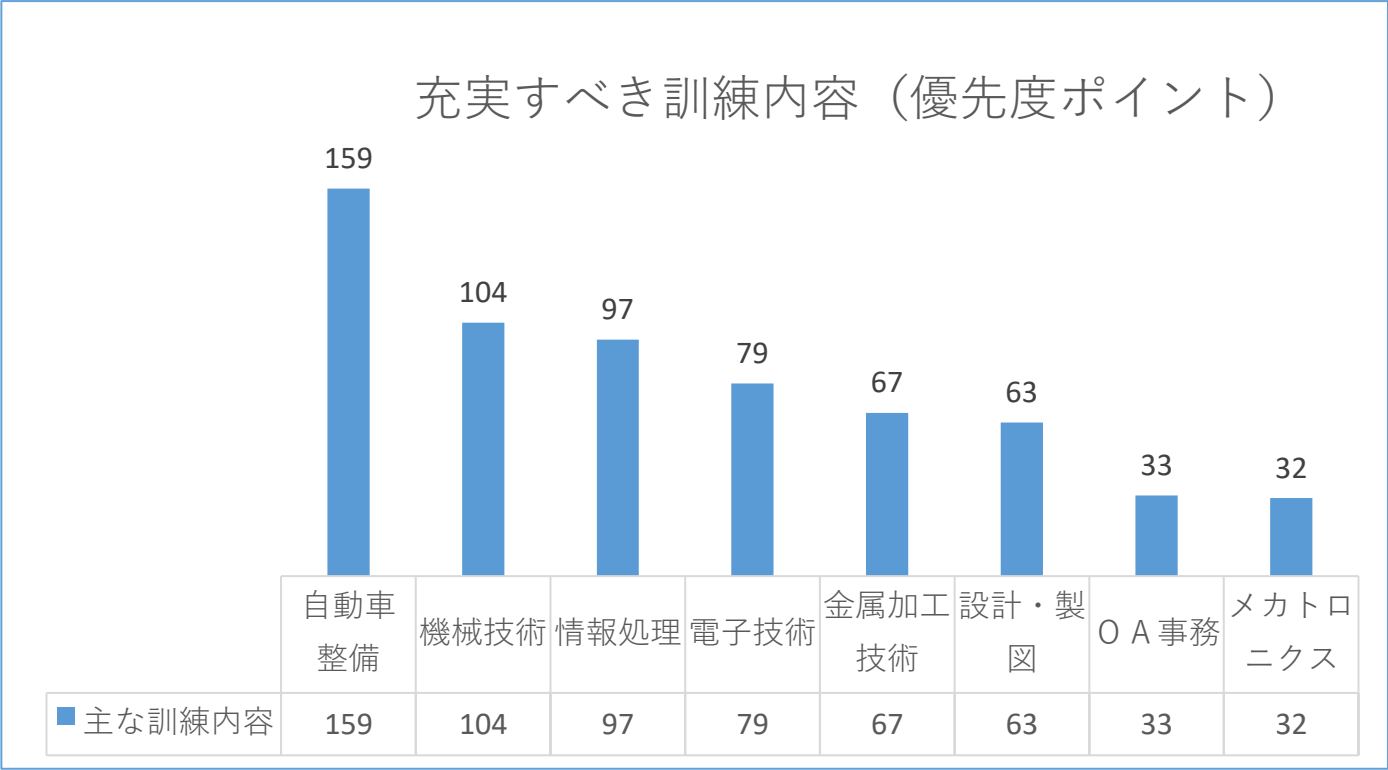
優先して求められる技術・技能



教育の充実が求められる技術・技能



高校進路指導担当者への二一ズ調査の結果



【主な意見】

- ・ 本校の訓練科目は、進路先として適当である
- ・ 訓練の内容が高校生には理解しにくい
- ・ どのような職種が自分に合うかの適性がわからない

第2章 三重県立津高等技術学校の建替等について

(1) 三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想の策定

- 令和6年3月「三重県工業研究所の機能強化・施設設備にかかる基本構想」を策定
- 三重県立工業研究所の新たな拠点施設と一体的に整備することによって、駐車場や共有スペースの共有化を通じて施設整備や維持管理における効率化を図る

【連携内容（基本構想より抜粋）】

- ・ 工業研究所の研究員が津高等技術学校で授業を行うことや、人的交流を組織的に行うことなどが検討できると考えられる。
- ・ 工業研究所と津高等技術学校の間で機器や工具の共有はできると考えられる。人材育成においても連携できるテーマはあると考えられる。組織的に連携を図れば可能性は広がると考えられる。
- ・ 機器のメンテナンスを一体的に行うことなどでの効率化は期待できる。
- ・ 対象としている技術の領域が異なるため、領域が異なることで補完できることもあると考えられるが、一方で連携が難しい分野もあると考えられる。
- ・ 津高等技術学校は職業能力開発促進法という根拠法に基づき運用されているため、連携方法を計画するにあたっては、根拠法をふまえて検討をするべきである。

第2章 三重県立津高等技術学校の建替等について

(2) 三重県工業研究所の津高等技術学校との一体整備を含む建替え再整備基本計画 (中間案) について

- 「三重県工業研究所の機能強化・施設設備にかかる基本構想」の策定をふまえ、再整備の基本的要件等を整理する「三重県工業研究所の津高等技術学校との一体整備を含む建替え再整備基本計画」を策定中
- 令和6年12月に中間案策定
- 令和7年1月13日までの間でパブリックコメントを実施（工業研究所に関するご意見4件）
- 令和7年3月に最終案策定予定

【基本計画（中間案）章立て】 ※下線の章が津高等技術学校に特に関係する

第1章 工業研究所の建替え再整備に向けたビジョンについて

第2章 工業研究所の2拠点の機能配置方針

第3章 津高等技術学校の役割と機能について

第4章 工業研究所と津高等技術学校の一体整備について

第5章 組織の運営方針

第6章 施設の管理方針

第7章 概算事業費の算定

第8章 事業手法・整備手法の検討

第9章 事業スケジュール

第10章 建替え再整備にあたっての重要留意事項

第2章 三重県立津高等技術学校の建替等について

(3) 着工までの年度別スケジュール等（想定）

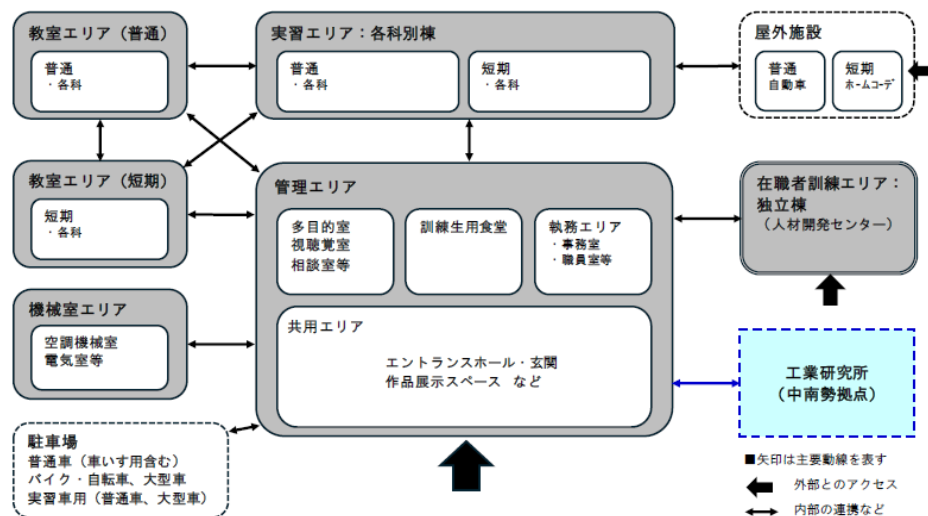
【スケジュール】

令和6年度	基本計画策定
令和7年度	基本設計
令和8年度	詳細設計
令和8年度末	一部施設解体着工
令和9年度	ものづくりの総合拠点（四日市市）（仮称）着工
令和10年度	本所・連携の総合拠点（津市）（仮称）着工
令和12-13年度	本所・連携の総合拠点（津市）（仮称）工事完了
令和13年度	津高等技術学校 着工
令和14年度	ものづくりの総合拠点（四日市市）（仮称）工事完了
令和15-16年度	津高等技術学校 工事完了

※現在検討中の配置案により、順調に進んだと仮定した場合の最短での工事完了の想定スケジュール。

※既存施設からの移転作業完了後の機器調整や開業準備等の期間は含まれていない。

※以下の図はそれぞれ一案であり、確定したものではない。



（注）図は敷地内の場所や各エリアの面積の広さを表しているものではありません。

機能構成図

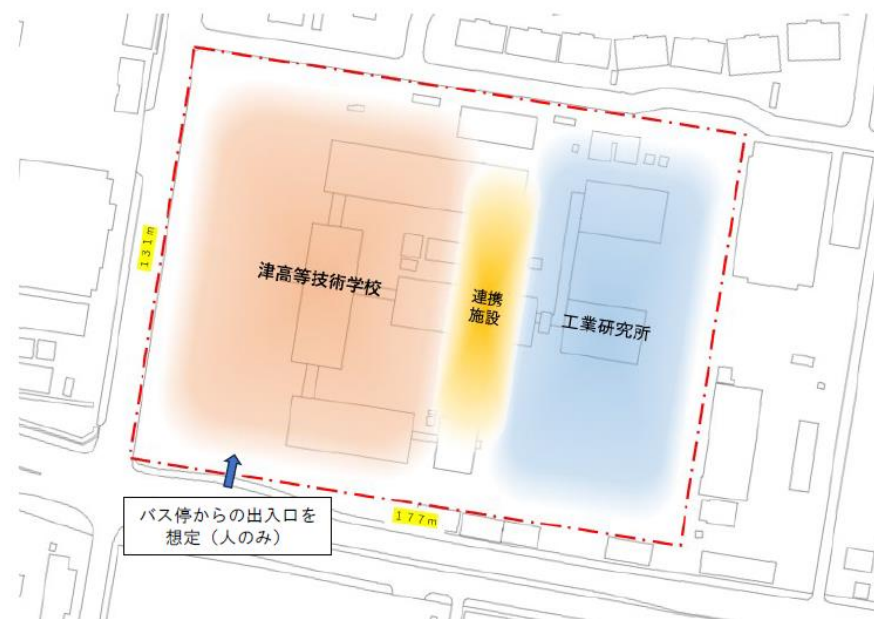
【概算事業費】

約102億円（税込）

※工業研究所は別途約143億円を見込んでいる。

※令和6年10月試算。測量費、土壌汚染対策費、移転費、機器費用等は含まない。

※資材費・人件費等の変動によっても金額が変わることを見込む必要がある。



【図 土地利用イメージ（工業研究所（中南勢拠点）+津高等技術学校）】